

コジマがくらし応援便車両として電気自動車（EV）を導入

ビックカメラグループの株式会社コジマ（本社：栃木県宇都宮市 代表取締役社長 中澤裕二）は、家電に関するお客様のお困りごとを従業員がご自宅に訪問し、親切・丁寧にお応えする「くらし応援便」に使用している車両について、電気自動車（EV）の導入を2月28日（水）より順次開始いたします。

当社は、「家電を通じて 笑顔あふれる 明るく暖かいみらいをつくる くらし応援企業であること」をパーパスとし、地域の皆様に家電を中心としたくらし関連の商品・サービスの提供を行っております。当社が取り組むマテリアリティの一つとして「みらい応援店舗」を掲げており、環境にも人にも優しく、くらしのお役に立つ店舗の実現を目指しております。

この度の電気自動車導入では、コジマ×ビックカメラ江戸川店のくらし応援便車両 2 台を皮切りに、2024年8月までに三菱自動車のミニキャブ EV を順次 11 店舗に導入いたします。くらし応援便は現在 30 エリア 66 店舗で運営を行っており、2024年9月以降につきましても導入店舗を更に拡大する予定です。

◇導入予定車両イメージ◇



導入予定店舗

コジマ×ビックカメラ江戸川店
コジマ×ビックカメラ尼崎店
コジマ×ビックカメラ相模原店
コジマ×ビックカメラ用賀店
コジマ×ビックカメラ梶ヶ谷店
コジマ×ビックカメラ小平店
コジマ×ビックカメラ新座店
コジマ×ビックカメラ宇都宮本店
コジマ×ビックカメラ柏店
コジマ×ビックカメラ松戸店
コジマ×ビックカメラ足立加平店